

いのちの大切な場面  
子どもだから「こそ」  
伝えてあげべきことがある

子どもにとって「亡くなる  
こと」を理解すること、そ  
れはまず大人が教えてあげ  
ることから始まります。  
そしてお葬式という大切な  
お別れの場面で子どもだけ  
が切り離されたりしないよ  
うに、家族みんなでちゃん  
とさよならが伝えられるよ  
うに。そんな想いからこの  
絵本が生まれました。

子どもがわかりやすい  
大人が伝えやすい  
一緒に学び理解できる  
そんな絵本を目指しました

この絵本では絵を多く用い  
ており、指さしやジェスチ  
ャーなどで視覚的に伝えや  
すいようになっています。  
また、聴覚障害児とのコミ  
ュニケーションの助けにな  
るよう手話のイラストも掲  
載しています。  
大判すぎず持ち歩きやすい  
のでいざという場面でも絵  
本を広げながら説明するこ  
とにも活かせます。

おとなといっしょによむ

## おそうしきのえほん

作 ひとり／青龍寺空芳  
監修 一般社団法人仏教情報センター  
A 5 版 42 ページ  
定価 800 円

作者であるひとりが僧侶とともに作りまし  
たぜひお読みいただけましたら幸いです

さよならのイラスト。

ちやんと  
伝えたい

